

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園の向上に努めて参ります。

- A : たいへんよい
- B : よい
- C : 一部検討を要する
- D : 改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか	○				理念や基本方針は、ホームページや重要事項説明書、玄関ボード、また、行事等で保護者の皆様方に周知を図りました。しかし、保護者アンケート結果より、十分に周知理解されていないことが分かりました。来年度は、今年度行ったことに加え、日々の教育保育の意図などの説明を通じ、わかりやすい方法で、より多くの方に理解していただけるよう努力していきます。
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか			○		
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか	○				
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか	○				今年度より、行事後にアンケートを取り保護者の皆様方のご意見を伺いました。来年度は、いただいた意見を参考に、行事を含む教育保育の内容を十分話し合い、子どもたちが豊かな体験を積み重ねられるよう教育保育を計画していきます。
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				今年度、食を営む力の育成に向け、その基礎を培うために、日々の生活や遊びの中で、自ら食にかかわる様々な体験を積み重ねてきました。これらの体験により、食べることを楽しみ、保育者等や友だちと食を楽しみ合うことができました。来年度も、今年度同様、様々な活動にチャレンジしていきます。 職員は、子ども一人一人の気持ちをしっかりと受け止め、自分は大切にされていると感じることができるよう心の土台を育み、生き生きと目を輝かせて活動する中で、生涯の学びを支える力（意欲・協調性・集中力・知的好奇心など）を育むことを大切にしていきます。来年度も、子どもたちの育ちを保護者の皆様方にわかりやすく写真等を通してお伝えしていきます。
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか	○				
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	○				
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	○				
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか	○				
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか	○				
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育ていけるよう、継続的な信頼関係が築かれているか	○				こども園から小学校へスムーズに接続されるためには、小学校との連携が重要であるため、今年度は、これまでの取り組みに加え、1年生の授業見学や冬休みの学校探検などを実施しました。今後も小学校と相互に連携を図りながら取り組んでいきます。
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			地域子育て支援室（ぼけっとサン）は、利用者が大変多く、地域の子育て家庭にとって気軽に訪れ、相談することができる身近な施設として、その役割を果たしています。来年度も各関係機関と連携を取りながら、認定こども園としての特性を活かして貢献していきます。
	(2) 虐待に対応できる園内の体制（医療機関、児童相談所など専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか	○				
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	○				
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				看護師はその専門性を活かし、全職員が疾病や衛生に対する正しい理解を持ち、嘔吐や便等の処理方法などについて熟知するよう指導を行いました。そのことにより、職員は概ね適切な対応を行うことができました。
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか	○				大地震や津波の災害に備え、これまでの地震等の自然災害発生時対応マニュアルを、石川県児童福祉施設における防災計画作成指針を参考に今年度見直ししました。
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか	○				
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか	○				子どもたちに質の高い教育保育を実践するにあたっては、まず職員一人一人の資質向上が図らなければなりません。今年度は、職員会や園内研修の充実を図り、職員間で学びあいを深めてきました。また、職員一人一人が年3回自己評価を行い、自身の課題を明確にし、改善するようにしました。今後も継続していきます。
	(7) 事業計画が職員に周知されているか	○				
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか	○				
	(10) 個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	○				
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか	○				
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか	○				
	(14) 個人の評価結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			